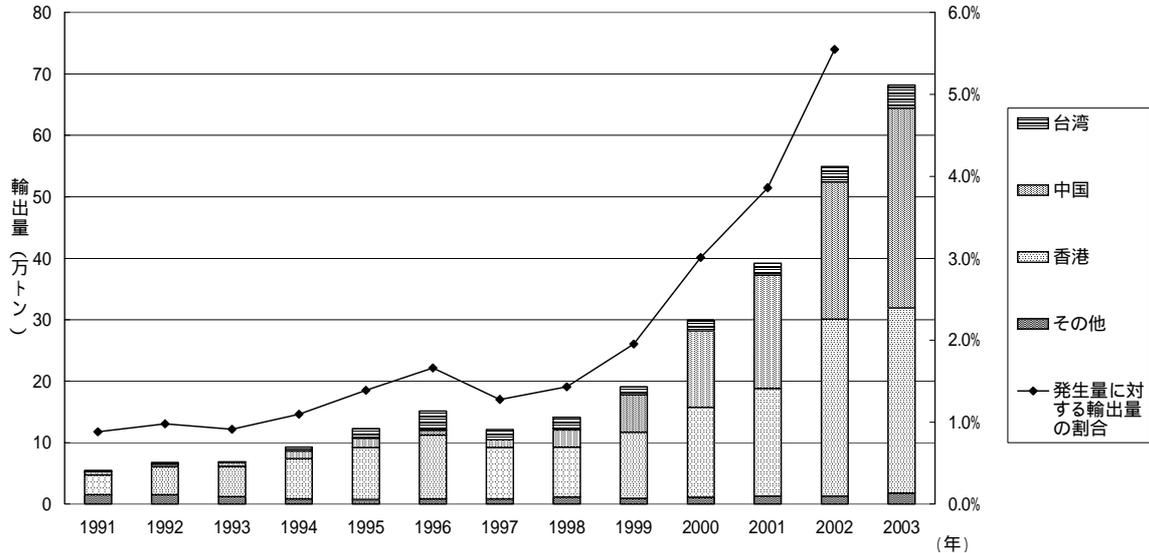


1 2 循環資源の日本からの輸出量の推移

<プラスチックくず>

1997年以降、急速に輸出量が伸びている。輸出先別に見ると、中国（中華人民共和国及び香港特別行政区）への輸出が全輸出量の大半を占めている（図1）。

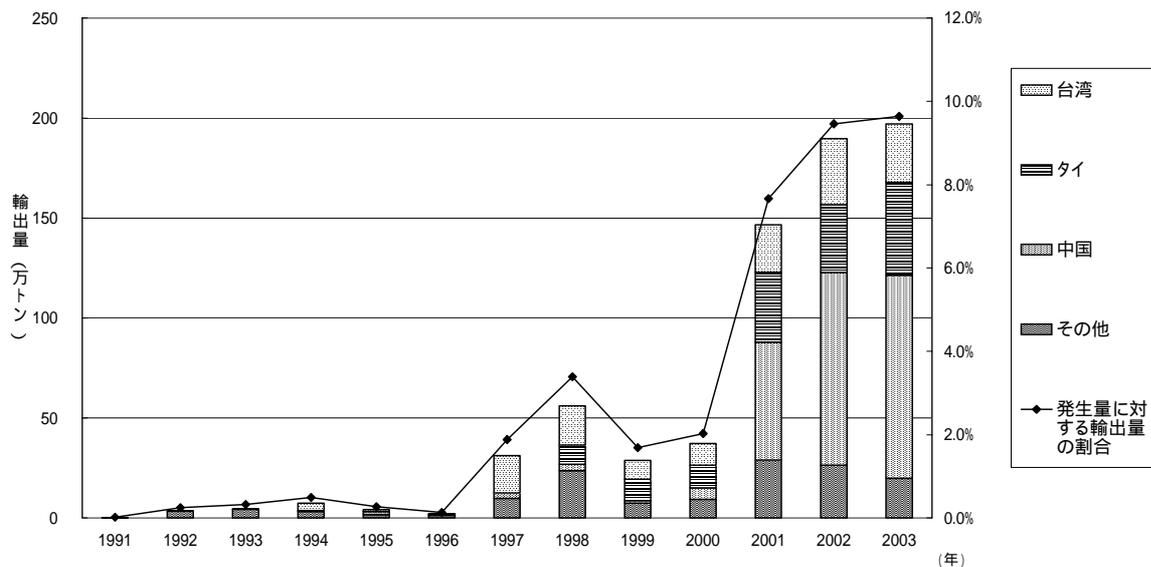


出所：財務省貿易統計およびプラスチック処理促進協会調査より作成。輸出量は貿易統計中のプラスチックのくず(HSコード3915)の数値を、国内発生量は(社)プラスチック処理促進協会調査の数値を用いた。

図1 プラスチックくずの輸出量の推移

<古紙>

2000年から2001年にかけて輸出量が急増している。2003年の輸出量を輸出先別に見ると、中国への輸出量が最も多く、次いでタイ、台湾への輸出量が多くなっている（図2）。

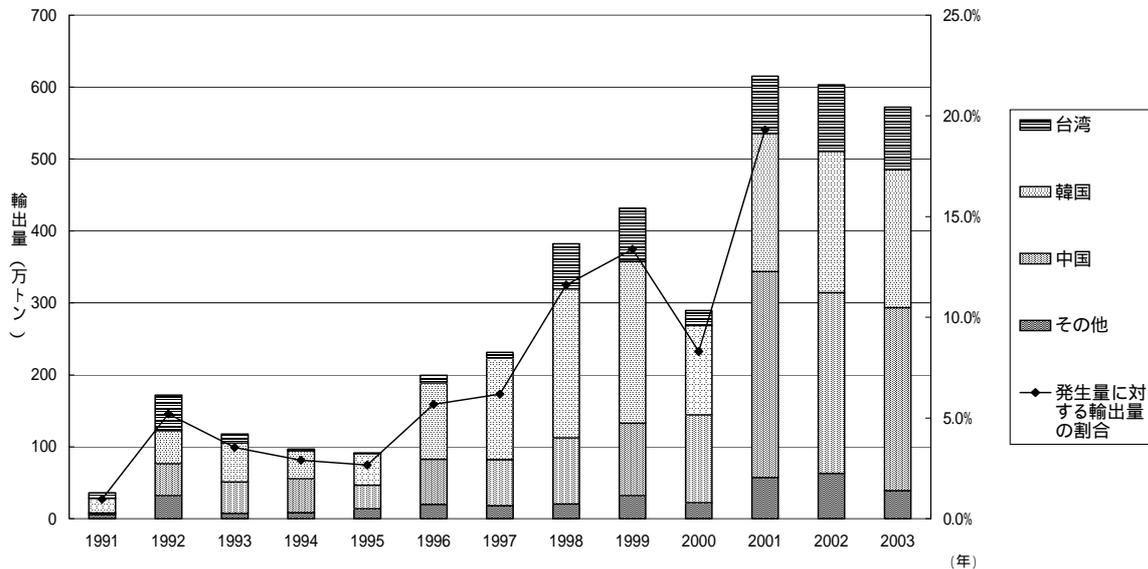


出所：財務省貿易統計及び古紙再生促進センター調査に基づき作成。輸出量は財務省貿易統計中の古紙(HSコード4707)の数値を、国内発生量は(財)古紙再生促進センター調査の数値を用いた。

図2 古紙の輸出量の推移

<鉄くず>

2000年に輸出量が減少したものの、全体として増加傾向にある。2003年の輸出量を輸出先別に見ると、中国への輸出量が最も多く、次いで韓国、台湾への輸出量が多くなっている（図3）

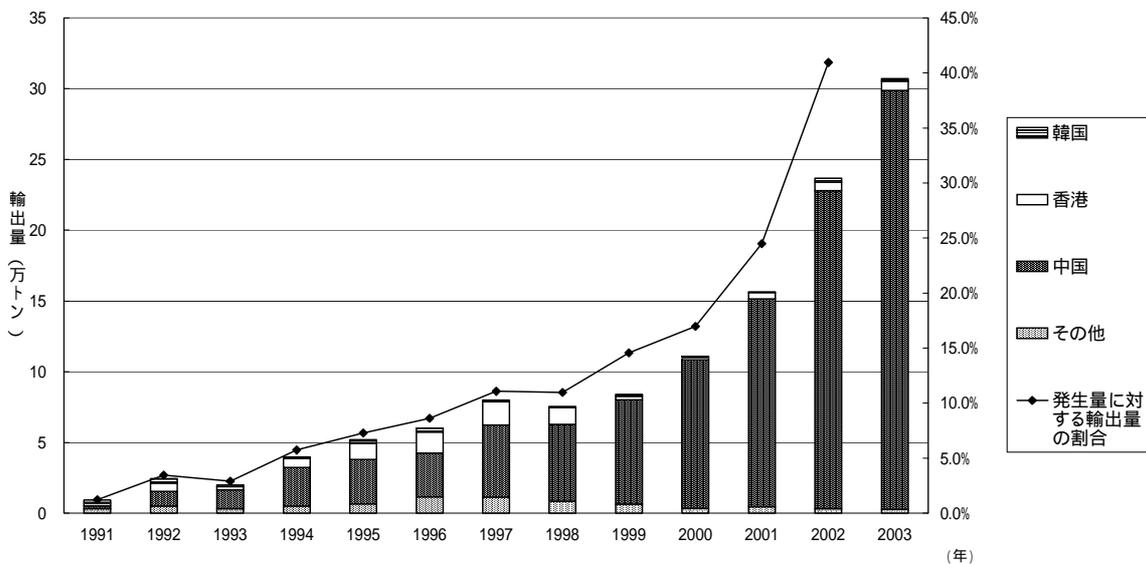


出所：財務省貿易統計及び鉄鋼統計月報より作成。輸出量は貿易統計中の鉄鋼のくず及び鉄鋼の再溶解用のインゴット(HSコード7204)の数値を、国内発生量は鉄鋼統計月報（鋳物を含む国内購入量）の数値を用いた。

図3 鉄くずの輸出量の推移

<銅くず>

1991年以降、輸出量は全体として増加傾向にある。2003年の輸出量を輸出先別に見ると、中国への輸出量が多く、全輸出量の大半を占めている（図4）

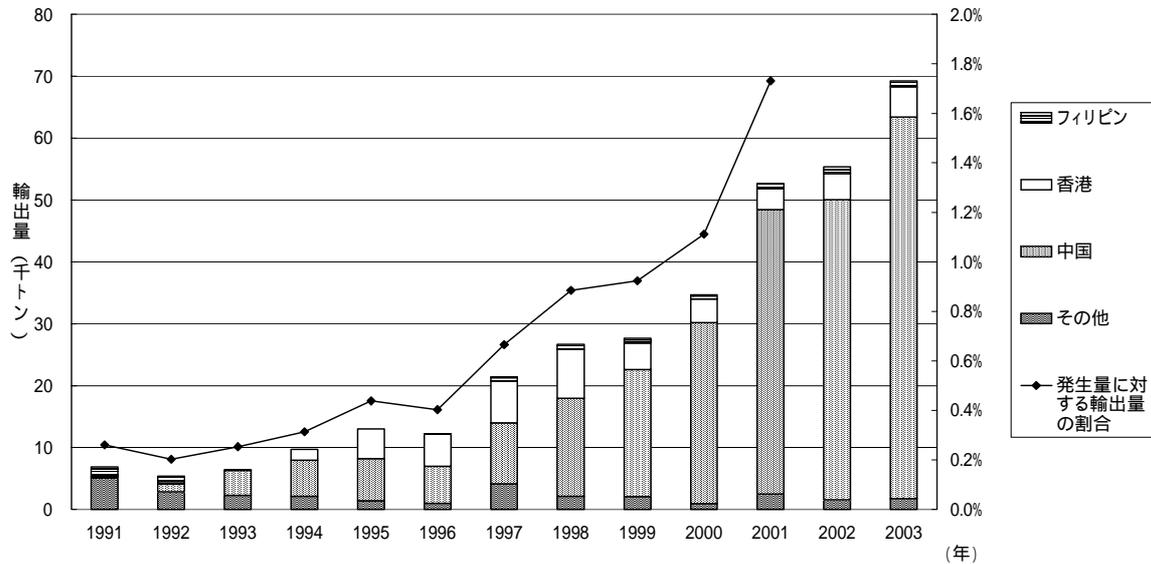


出所：財務省貿易統計および資源統計年報より作成。輸出量は貿易統計中の銅のくず(HSコード7404)の数値を、国内発生量は資源統計年報の「銅の故又はくず」の供給量から輸入量を引いた数値を用いた。

図4 銅くずの輸出量の推移

<アルミニウムくず>

1991年以降、輸出量は全体として増加傾向にある。2003年の輸出量を輸出先別に見ると、中国への輸出量が全輸出量の大半を占めている(図5)。

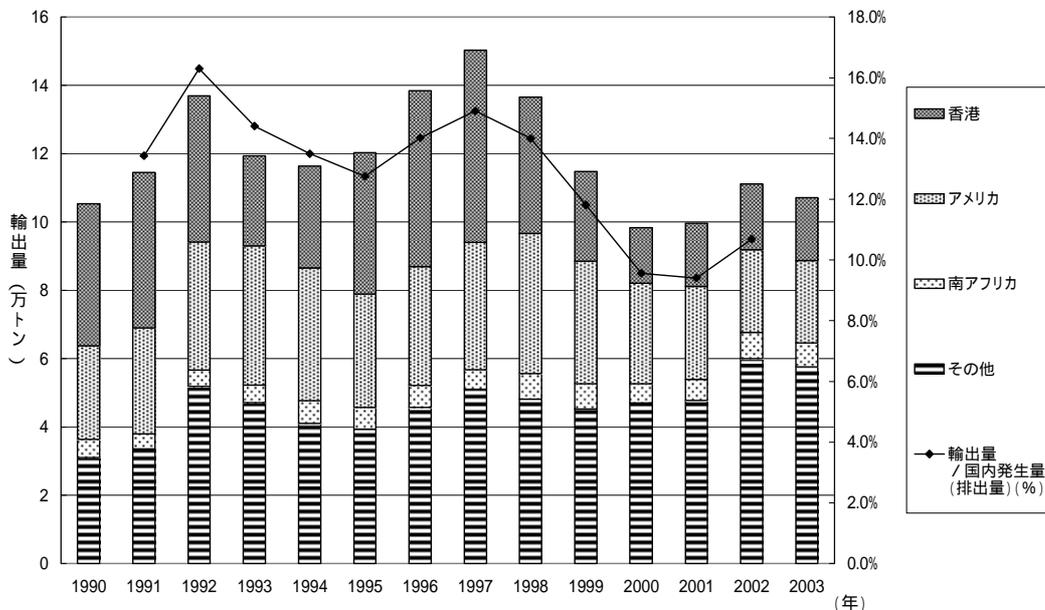


出所：財務省貿易統計および資源統計年報より作成。輸出量は貿易統計中の、アルミニウムのくず(HSコード7602)の数値を、国内発生量は資源統計年報の「アルミニウムの故またはくず」の供給量から輸入量を引いた数値を用いた。

図5 アルミニウムくずの輸出量の推移

<更生・中古タイヤ>

1990年以降、輸出量は全体として横ばいである。2003年の輸出先別の輸出量を見ると、アメリカ及び香港への輸出先別の輸出量が多い(図6)。

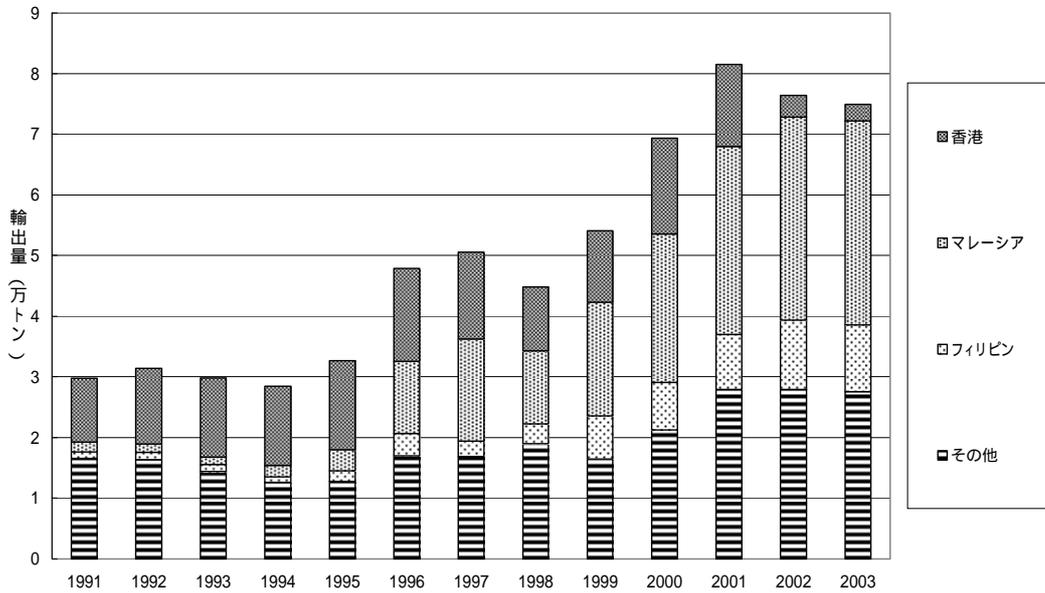


出所：財務省貿易統計および社団法人 日本自動車タイヤ協会「2003年版日本のタイヤ産業」により作成。輸出量は貿易統計中のゴム製の空気タイヤ(更生したものと中古のものに限る。)並びにゴム製のソリッドタイヤ、クッションタイヤ、タイヤトレッド及びタイヤフラップ(HSコード4012)の数値を、国内発生量は「2003年版日本のタイヤ産業」の数値を用いた。

図6 更生・中古タイヤの輸出量の推移

<中古衣類>

1991年以降、輸出量は全体として増加傾向にある。2003年の輸出量を輸出先別に見ると、マレーシアへの輸出量が多くなっている(図7)

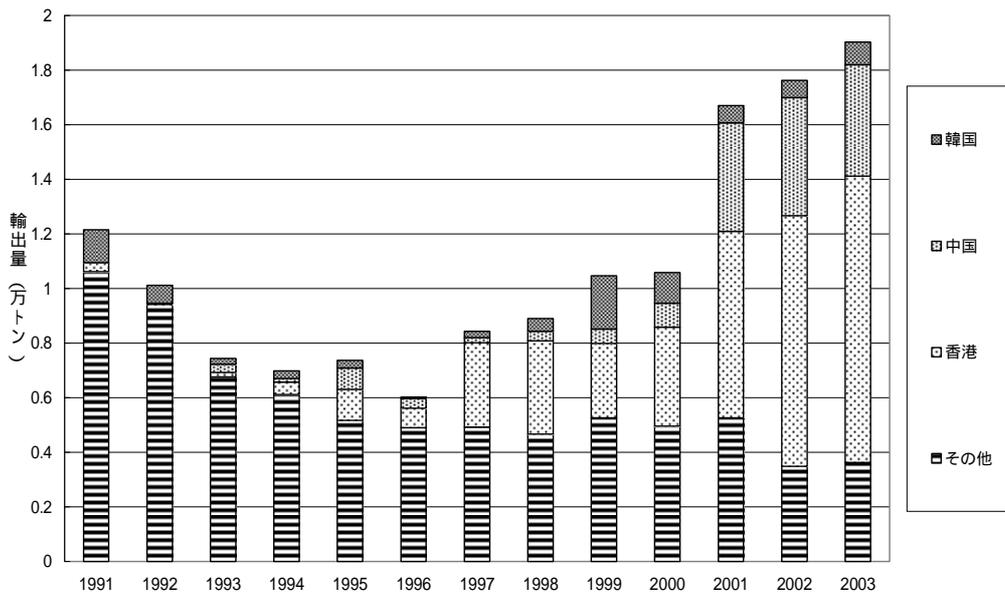


出所：財務省貿易統計より作成。輸出量は財務省貿易統計の中古の衣類その他の物品 (HSコード6309)の数値を用いた。

図7 中古衣類の輸出量の推移

<ぼろ及びくず>

1991年以降、輸出量は全体として増加傾向にある。1991年から1996年までは減少傾向にあったが、1996年以降は急激に増加している。2003年の輸出量を輸出先別に見ると、香港と中国への輸出量が多く、全輸出量の大半を占めている(図8)

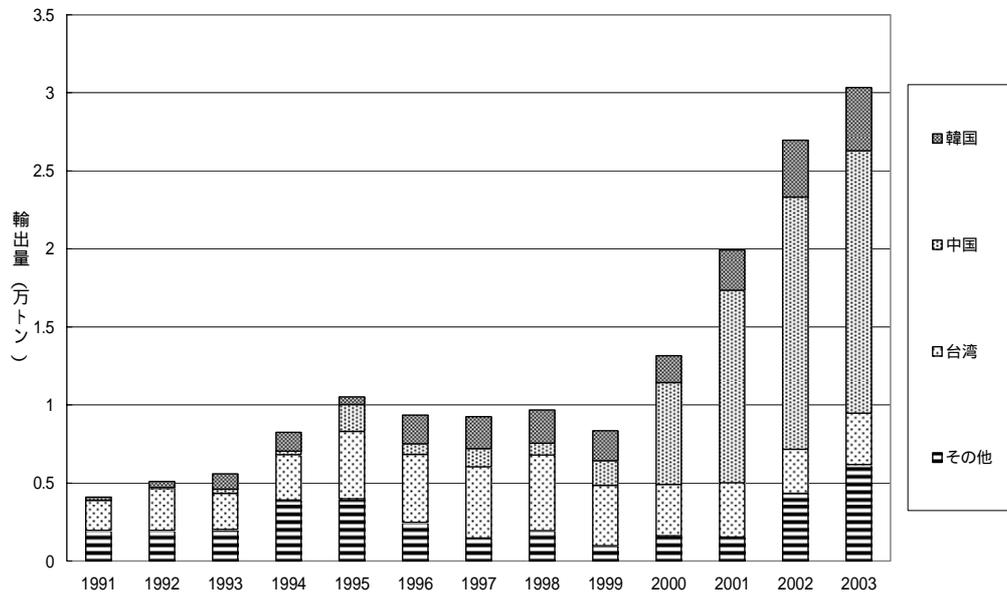


出所：財務省貿易統計より作成。輸出量は財務省貿易統計のぼろ及びくず(ひも、綱若しくはケーブル又はこれらの製品ののものに限る)(紡績用繊維のものに限る)(HSコード6310)の数値を用いた。

図8 ぼろ及びくずの輸出量の推移

<人造繊維のくず>

2000 年以降、輸出量は急増している。2003 年の輸出量を輸出先別に見ると、中国への輸出量が最も多く、全輸出量の大半を占めている（図 9）



出所：財務省貿易統計より作成。輸出量は財務省貿易統計の人造繊維のくず（ノイル、糸くず及び反毛した繊維を含む）（HSコード 5505）の数値を用いた。

図 9 人造繊維のくずの輸出量の推移